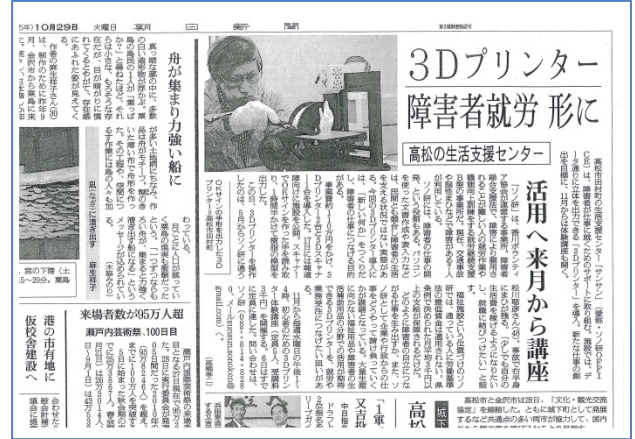


生活支援センター「サンサン」就労継続支援B型の活動報告(25年度)

平成25年9月 3Dプリンター2台、3Dスキャナー1台、専用PC2台など導入。
 平成25年10月 報道向け導入説明会開催



平成25年11月～12月

◆超☆初心者のための3Dプリンター体験講座(受講料3,000円)
 定員5名:毎週水曜日開催;5回開催⇒計21名受講(63,000円収入)
 ※facebookと「あしたさぬきブログ」だけの告知・募集
 ※利用者3名と三野で説明項目分担し、実施

<一般向け>

<親子体験会>



平成25年11月～平成26年3月

◆3Dプリンターを使った障害者の生活改善グッズのデザイン制作
 ・3Dモデル作成



タッチパネル操作ペンの
オリジナル補助パーツ

**電動車イスの操作ノブを
カスタマイズしてみませんか?**

オリジナルノブを作りたい
使いやすいノブを作りたい
こんなノブは作り変えたい

などいろいろな希望に応じて作成できます。

**サンプル作成 3個まで
5000円**

生活支援センター「サンサン」内 ソノ研

電動車イスの操作レバーアクセサリ
オーダーメイドでつくります

生活支援センター「サンサン」就労継続支援B型の活動報告(26年度)

平成25年7月～平成26年3月

◆高松市市民協働企画提案事業

「高松市のユニバーサルなお店;100店紹介」事業

- ・「あなたがユニバーサルだと思うお店」アンケート依頼・回収
 - ・100店選定 ～ 100店取材・撮影
 - ・高松市に100店データ納品。+団体ブログで100店紹介
- 事業予算;45万円
任意団体設立・受託⇒就労事業へ委託して実施

高松のユニバーサルなお店100店紹介ブログ

4月4日から毎日3、4店、取材をした100店を公開してゆきます。ぜひご覧ください。

Image Photo List

Arts by Gonzo ▶ 高松店 ▶ 香川店 ▶ 釘倉店 ▶ 高松店

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31									

カテゴリー

- 飲食店 (40)
- 食料・日用品 (16)
- 美容・理容 (11)
- 健康・リジャー (12)
- その他 (3)
- 高松市中部 (38)
- 高松市東部 (8)
- 高松市西部 (7)
- 高松市南部 (29)

最近の記事

- 美容 room to Grow(ルームトゥグロウ)のさんが、推せんされました。(4/28)
- 熊浜か壽司 高松上天津店さんが、推せんされました。(4/28)
- ガスト 豊村公園店さんが、推せんされました。

平成26年度上期

◆社会福祉法人向けホームページ簡単制作パッケージ

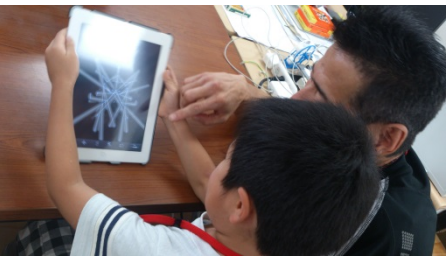
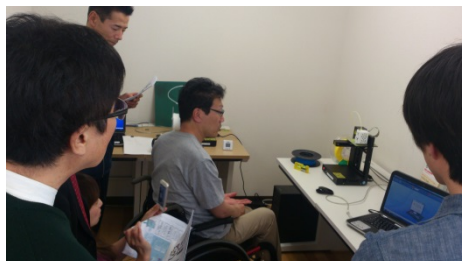
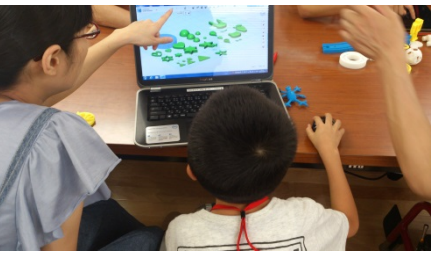
制作実績 (Jimdo.comサービスを利用した制作)

- ・香川県障害者支援施設「たまも園」様
- ・社会福祉法人 翠睦福祉会(かわしま荘、ほっと)様
- ・一般財団法人 高松市身体障害者協会様
- ・香川障害フォーラム様
- ・高松ボランティア協会様



◆「超☆初心者のための3Dプリンター体験講座」開催 ◆夏休み「3Dプリンター親子体験会」開催

利用者3～4名が担当分けを行い、司会進行・説明・操作指導などを行っています。



生活支援センター「サンサン」就労継続支援B型の活動報告(26年度)

◆クラウドファンディングサービス「READY FOR?」を使った3Dプリンター活動資金集めにチャレンジ

『障がい者と3Dプリンターの未来をつなぐ、バリア生活快適化実験』プロジェクト, 107%達成。

<https://readyfor.jp/projects/sunsun3d>

障がい者と3Dプリンターの未来をつなぐ、バリア生活快適化実験

現在の達成金額 **158,000** 円

目標金額 **800,000** 円

スポンサー募集終了まで **61** 日

支援した人数 **12** 人

このプロジェクトの支援に参加する

このプロジェクトは12月14日(日)午後11:59の時点で、800,000円以上集まった場合のみ、決済が完了されます。

¥3,000 の支援で受取る引換券
在庫制限無し

- サンクスレター
- ブログ、Facebookページに支援者様の名前記載

6個 購入済み



障がい者と3Dプリンターの未来をつなぐ、バリア生活快適化実験

by 三野(さんの)晃一@生活支援センター「サンサン」

障がい者就労施設で働くメンバーが、3Dプリンターを使って一人ひとりの障がいに合った「不便改善グッズ」をデザイン設計・出力し、15個(15人分)の試作品を届けます。

達成率	達成金額	残り
19%	158,000円	61日

障がい者就労施設で働くメンバーが、3Dプリンターを使って一人ひとりの障がいに合った「不便改善グッズ」をつくります！ハンディを抱える一人ひとりに最適化させた「パーソナルな製品」を、障がい者が当事者目線を持ってつくる最高のツールが3Dプリンターです。

このチャレンジは就労支援施設の新しい実験的チャレンジです。うまくいけば、障がいを持つ方が3Dプリンターでデザイン・設計・出力する職業として成り立たせることにも繋がります。目標額80万円に対して107%の859,000円の支援が集まりました。

◆第100回全国図書館大会 公募型分科会に企画応募。採択され、11月1日、東京大会へ出展参加「こころ踊る“3Dプリンターものづくり図書館”実証実験”報告ワークショップ

～あなたも参加しませんか？老若男女みんなでつくる、市民による市民のためのちょこっと便利で楽しい暮らし創造を図書館から～。

大会ホームページ ⇒ <http://jla-rally.info/tokyo100th/index.php/102>

◆10月11日(土)事前イベント『3Dプリンターが図書館にやってくる！』高松市中央図書館にて開催



◆第100回全国図書館大会 公募型分科会に企画応募。採択され、11月1日、東京大会へ出展参加
「こころ踊る“3Dプリンターものづくり図書館”実証実験」報告ワークショップ

～あなたも参加しませんか？老若男女みんなで作る、市民による市民のためのちょこっと便利で楽しい暮らし創造を図書館から～。

大会ホームページ ⇒ <http://jla-rally.info/tokyo100th/index.php/102>

実施日時;平成26年11月1日(土) 午前9時～午後4時 「オープン参加型102分科会」

会場;明治大学駿河台キャンパス リバティタワー11階 1111教室、1112教室

来場者;121名(カウントをした人数)

3Dプリンター協賛;アンドール株式会社 (協力;(株)ABKSS)

まず、3Dプリンターを知る
1111会場

◇3Dプリンターとは？

◇3Dデータのつくり方

◇ソノ研の3Dプリンター活用内容

どんなことができ
どんなことができないで、
どんな活動をしているのか？
ぜひ、知ってください。

そして、3Dプリンターと
図書館を考える
1112会場

◇10月11日に実施した高松市立中央図書館での「3Dプリンターが図書館にやってくる！」アンケート報告

◇日本国内私立大学図書館での3Dプリンター設置・運営に関するレポート
あなたの疑問、ご意見、アイデアを「お聞かせください！ディスカッション」を行い、「試案」をつくりたいと考えています。

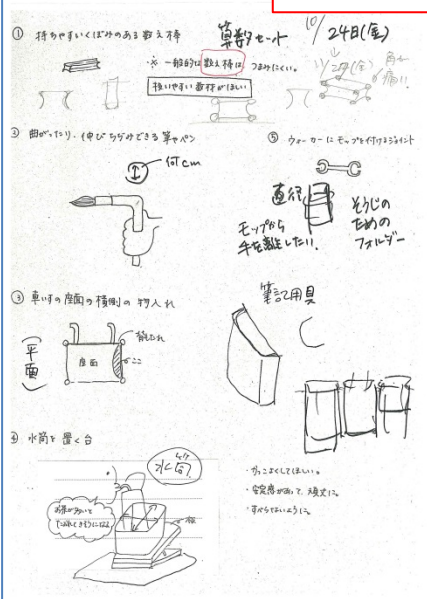


生活支援センター「サンサン」就労継続支援B型の活動報告(26年度)

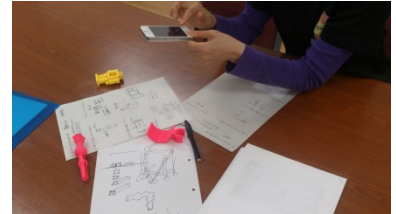
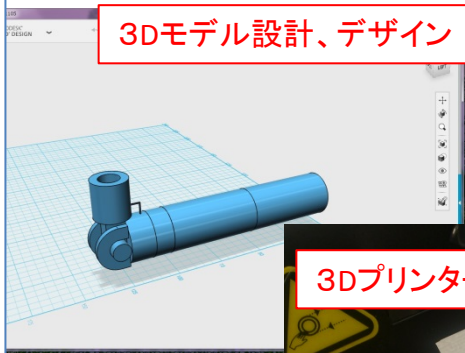
平成26年11月～

◆香川県立高松養護学校との「不便改善グッズ」アイデア収集と3Dプリンターでものづくり連携、開始
 肢体不自由児特別支援校の高松養護学校様から児童・生徒の日常生活、学習の不便さを改善する補助具などの「アイデアシート」を集め、それを就労メンバーが3Dモデル作成ソフトと3Dプリンターを使って設計、デザイン、3D作図を行い、試作品をつくって学校で試用。さらに改善点を洗い出し試作品に反映するという「3Dプリンターでものづくり;高松養護学校+生活支援センターサンサン就労B型」連携がスタートしました。

アイデアシート



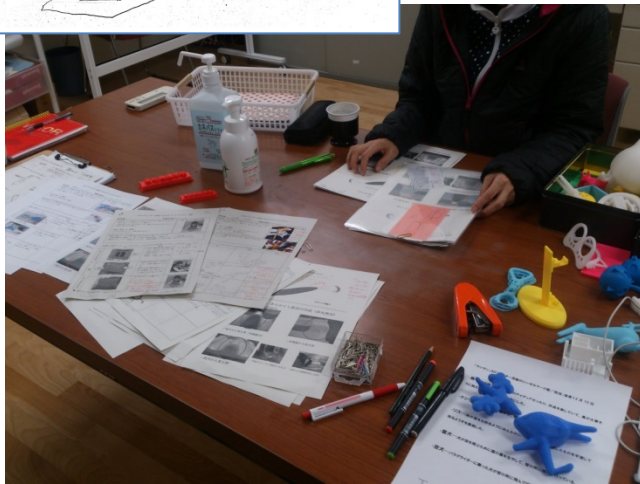
3Dモデル設計、デザイン



3Dプリンター出力



試用しての感想、修正、追加依頼シート



3Dプリンターを使ったものづくりアイデア

担当者 近藤 京野 児童生徒名 (イニシャル)

【使用者 (どんな障害の人が使えますか?詳しく書いてください)】
 手の可動域が小さく、握力弱、筆を握りやすいように
 ほしい

【希望、解決したい課題】
 ・握り部分を滑りやすいように、握りやすさにしてほしい。
 ・握り部分の穴が、数種類ある。
 ・筆の芯の差込み部分の穴も、数種類あるように。

【道具の使い方 (どんな風に使えますか?詳しく書いてください)】
 筆の芯の差込み

①

図	備考	写真
平面(上から見た図)	① 長さ ② 穴の径 穴の径は、握りやすさに合わせて、穴の径を大きくしたい。	④ 穴の径の 0.5mmの 穴の径を 大きくしたい。
側面	この部分が、握りやすくなるように、穴の径を大きくしたい。 穴の径は、握りやすさに合わせて、穴の径を大きくしたい。	① 長さ調節用に つき定規を ② 握りやすさに 2種類の穴 ③ 筆の芯の穴の 大きさも2種類あり
立面(正面から見た図)	① 穴の径を 大きくしたい。 穴の径は、握りやすさに合わせて、穴の径を大きくしたい。	④ 長さ ⑤ 穴の径 ⑥ 穴の径 ⑦ 穴の径 ⑧ 穴の径

● 図にサイズや角度を詳しく記入してください。

⑦ ABS色見本をつける。



試用を繰り返して、さらに増えるアイデアと3Dモデル

生活支援センター「サンサン」就労継続支援B型の活動報告(26年度)

平成27年1月

◆「Google インパクトチャレンジ」に応募。3月16日のノミネート10団体の発表を待っています。応募したテーマは、「3Dプリンターを障害者の就労支援に～障害者による障害者のための不便改善グッズ制作を新しい産業分野にしよう」です。5,000万円の資金を得て「サンサン」を『福祉3Dプリンターセンター』化して、2年間の間に私たちの活動を全国に広め、3Dプリンター関連業務に携わる障害者を育成し、新しい産業分野を生み出すチャレンジです。

<Google インパクトチャレンジとは> <https://impactchallenge.withgoogle.com/japan>
世界をよくするスピードをあげよう。
あなたのアイデアを応援する Google インパクトチャレンジ。

テクノロジーで、もっといい世界が作れる。Google は、心からそう信じています。
この目標をより早く達成しようと、Google クライシスレスポンスや、非営利団体向けGoogle サービスの提供などを通じて Google は非営利団体を応援しています。

Google インパクトチャレンジは、様々なテクノロジーの活用を通じ、社会問題の解決にチャレンジする非営利団体を支援するプログラムです。Google では本プログラムを、インド、ブラジル、英国、米国、オーストラリアで開催してきましたが、ついに日本でも開催することになりました。2015年1月9日に応募を締め切りました。現在アイデアを審査中です。

残念！
不採用！

2015年3月にファイナリストとなる10組を発表し、その中から応援したいプロジェクトを選ぶ一般投票を募ります。2週間後に、審査員団が一般投票の結果と合わせて審査し、選出した4組それぞれに5000万円の助成金を贈呈いたします。また、Google インパクトチャレンジの日本展開にあわせて、テクノロジーを活用した女性支援の取り組みを表彰する「Women Will」賞を新たに創設しました。Google は、もっといい世界がやってくることを願っています。

【基本コンセプト～2年間で実現させること】

障害者の不便さを解消するはすの福祉用品、補助具は高価・割高な上に、ひとりずつ微妙に違うニーズに対応できない。パーソナルタイプの3Dプリンターの登場で、身体障害者は企業などに頼ることなく、「障害者ひとりひとりの違い・不便さ・生きづらさ」を自分たちで「**楽しみながら**」解消できるようになった。

「障害者が自分で3Dプリンターを使って不便解消グッズをつくる」活動は、云わば『個人レベルでの福祉的**“遊び半分”**産業革命』である。そこで！この概念を全国に広め、より多くの障害者が3D作成ソフトと3Dプリンターに親しむきっかけをつくり、各地に「3Dプリンターものづくり拠点」を誕生させ、身体障害者の新しい就労職種をつくりニッチな産業分野として構築する。

課題1：啓発・普及活動が必要

3Dモデル作成ソフトと3Dプリンターを使うことで、障害者が自分で自分の不便を改善できるという**手法**が知られていない。

2年間で全国47都道府県で啓発セミナー実施。
対象：肢体不自由児特別支援学校189校
就労継続支援B型事業所4,590ヶ所

課題2：不便を改善するアイデアがなかなか出ない

「じゃあ、ここにこんな風な形のものをつくってもらえると、私の不便さが解消できます」と、具体的に言える人は、少ない。経験と試行錯誤の繰り返しとセンスが必要。

作業過程をWebで公開→ケースワークを掲載
アイデア出し～3Dモデル作成～試用モニター
～改善点出し～モデル修正～再度試用

半年後に運営開始

ものづくりソノまま研究室「ソノ研3dWebセンター」の構築・運営

<障害者を持っているソノままの在り様が、社会に必要とされ、役に立つ価値を生み出す好循環をつくり出す>

3つの機能⇒共同受注センター/福祉3Dプリントサービス/3Dモデラー教育サービス

このチャレンジの波及効果

【3Dモデル作成力向上】

不便改善グッズは、障害者の就労の多様性の入り口メニュー。
3Dモデル作成能力を身につけ磨くことで、「3Dモデル作成」業務で高付加価値を実現する職人となり、福祉分野以外の業務受注を実現し、収入の向上を目指すルートを確立する。全国平均工賃15,000⇒3D従事者30,000円に！

【3Dプリンター業務における障害者の様々な職種の構築】

- ・一般業務可能な3Dモデラー
- ・不便改善グッズ3Dモデラー
- ・不便改善アイデアアヒアリング・コーディネーター
- ・3Dソフト講師
- ・3Dプリンターオペレーター
- ・3D出力モデルの仕上げ人
- ・3Dプリンター体験講師

【半永久的な試作品の提供モデルの確立】

共同受注センターで提供・配布される不便改善グッズは、「サグラダ・ファミリア（ガウディの未完成建築物）」的福祉用品である。半永久的に改良・改修が行われ、購入希望者には、「モニター価格」で提供し、半年に1度、使用の感想などをレポートしてもらう。購入後は、摩耗や素材劣化による破損や、障害の変化によるサイズ調整などに対して、材料費のみで再度3D出力するサービスを継続して行う。

2015年5月

2017年4月